

コロナ禍の活動事例

島根県立大学松江キャンパス図書館
学生図書委員会

今回は新型コロナウイルスで活動がうまくできない中での私たち図書委員会の活動のうち、主だった3つを紹介いたします。また、今後の活動の案なども委員内で頂いたものをまとめました。

見てくださった方の参考になればと思います。



活動①：オンラインミーティング

MicrosoftのTeamsにある会議機能を使ったミーティング

良かった点

- ・春に行うことができなかった一年生との顔合わせや、今後の活動の情報共有ができた点

改善点

- ・人が多すぎると機器上のトラブルや、声が重なると一度に聞き取りづらくなる
- ・より発言しやすい気楽な環境づくりをしてよりミーティングの場を活発にすべき

活動②：本の「貸し出し福袋」

各袋にテーマを記載し、それに沿った本を福袋に封入した企画



実際の展示の様子⇒

良かった点

- ・テーマ設定をより自由にし、よりワクワク感を感じてもらえるようにした。
- 例：「たまご」、「真っ赤な本」など
- ・新たにクイズ形式の福袋を作成。テーマを伏せ、中の本から推測してもらうものを用意した。

改善点

- ・クイズの難易度や正解したときの景品の有無などが曖昧だった

良かった点

- ・初めての試みだったが、できるということがわかったこと
- ・発表中にチャット欄に質問を打つことで質問時間を有効に使うことができること

改善点

- ・オンライン投票による集計の効率化
- ・機材トラブル対策の入念な準備
- ・PCの画面を発表者以外が見えるようにする(他のバトラーがチャットの質問を見ることができなかったため)

活動③：オンラインビブリオバトル



Teamsを使用し開催。視聴者のみオンラインで発表を聞いていただいた。

⇐PCに向かい発表する様子

今後の活動案

- ・オンラインを使用した定期的な企画をつくる(簡単なオススメ本紹介や新刊紹介、学生が選書した本の紹介など)
- ・松江キャンパスにある絵本・児童書を所蔵している「おはなしレストランライブラリー」との更なる連携・協力
- ・松江キャンパス図書館のオリジナルキャラクター「らぶちゃん」の更なる利用、おはなしレストランに関連したキャラクター作成など